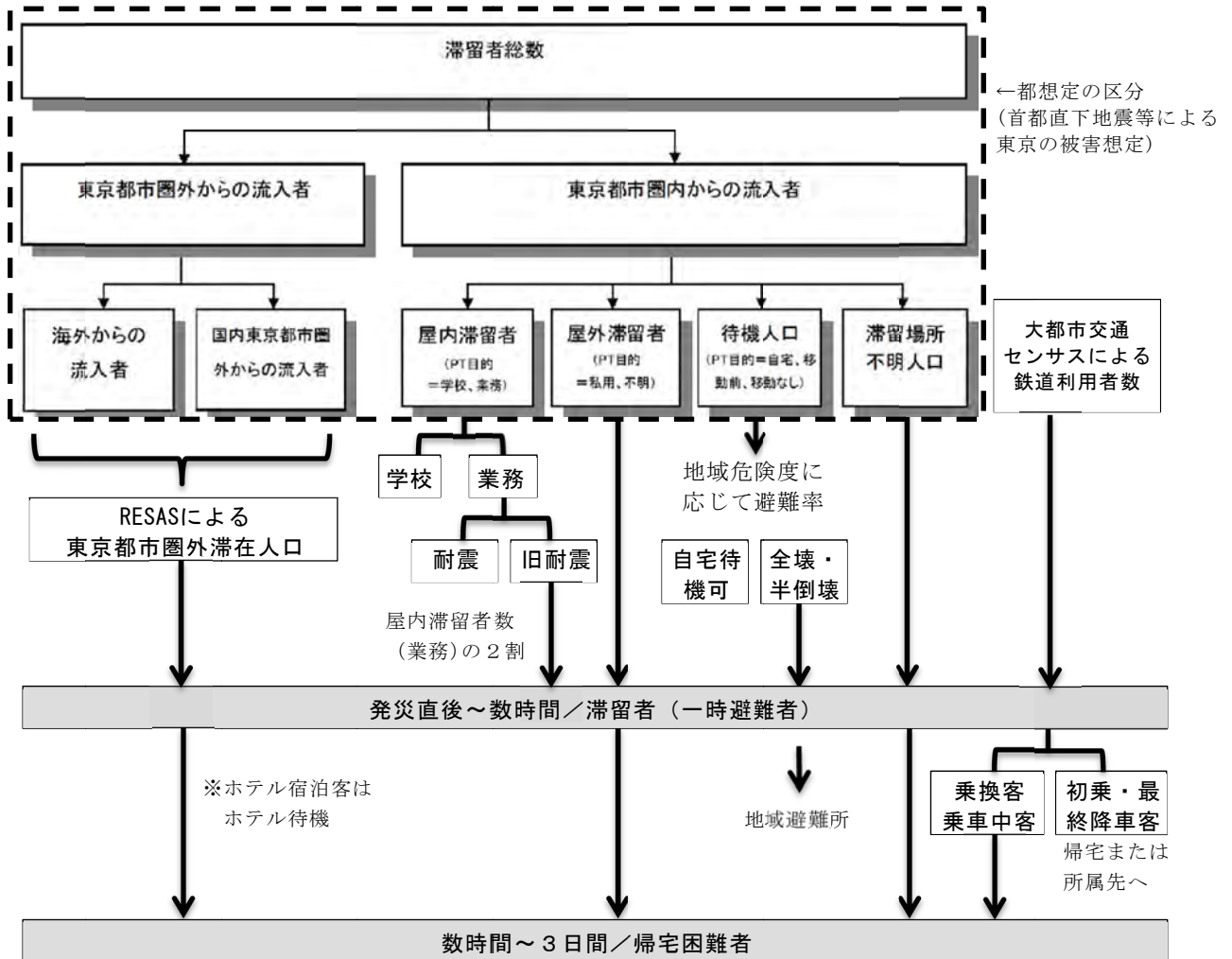


④ 滞留者等の推計（P110～ 参考）

ア 滞留者、帰宅困難者推計の考え方

本計画では、駅周辺において特に対策が必要となる人々について検討を行うため、「首都直下地震等による東京の被害想定」における滞留者数をベースとしながら、以下のフローに沿って滞留者および帰宅困難者の推計を行った。

図表 14 滞留者および帰宅困難者の推計フロー



2. 現況および課題の把握

イ 目黒駅周辺の滞留者数および帰宅困難者数

図表14のフローに基づき目黒駅周辺の滞留者数および帰宅困難者数を推計した結果は、以下のとおりである。

a. 目黒駅周辺の滞留者数および帰宅困難者数

目黒駅周辺地域全体の滞留者数は約22,000人、帰宅困難者数は約14,000人と推計される。

図表 15 目黒駅周辺地域における滞留者数および帰宅困難者数

		屋内滞留者 (業務) 避難者	屋外滞留者 滞留場所 不明人口	待機人口 避難者	東京都市 圏外来訪者	鉄道利用者	将来開発 集客数 (広域)	将来開発 集客数 (近隣)	合計
品川区	滞留者	2,348	2,661	927	1,544	8,266		625	16,371
	帰宅困難者	—	2,661	—	1,544	7,104			11,309
目黒区	滞留者	2,240	1,747	1,629	461				6,077
	帰宅困難者	—	1,747	—	461				2,208
計	滞留者	4,588	4,408	2,556	2,005	8,266		625	22,448
	帰宅困難者	—	4,408	—	2,005	7,104			13,517

## b. 町丁目別滞留者数および帰宅困難者数

町丁目別の滞留者数および帰宅困難者数は、以下のとおりである。なお、鉄道利用者は上大崎2丁目と上大崎3丁目に加算した<sup>12</sup>。また、白金台5丁目は、本計画では広域避難場所を退避場所としてのみ検討に含めるため、滞留者等の推計は行わない。

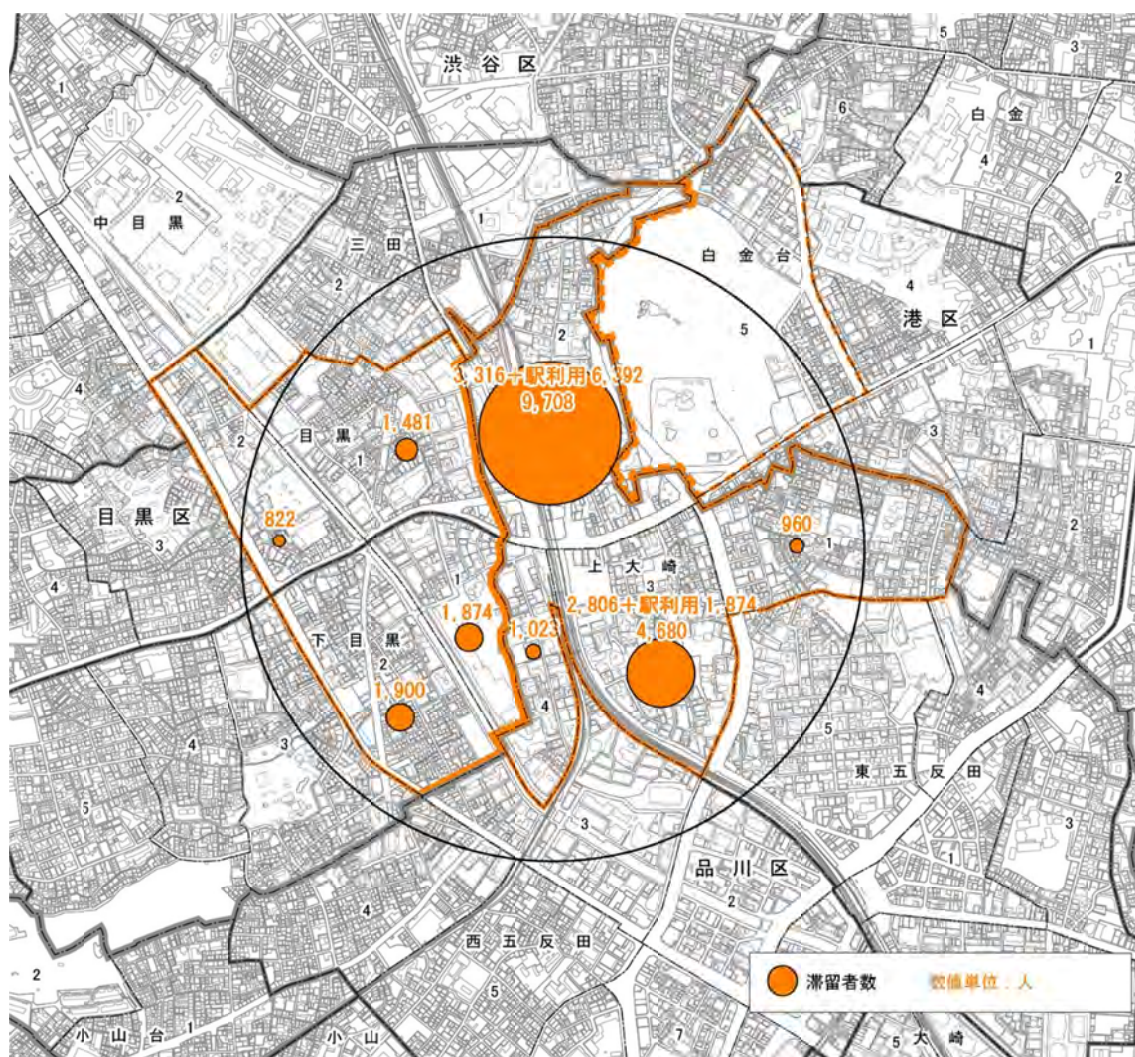
図表 16 町丁目別滞留者数および帰宅困難者数

	屋内滞留者 (業務) 避難者	屋外滞留者 滞留場所 不明人口	待機人口 避難者	東京都市 圏外 来訪者	鉄道利用者	将来開発 集客数 (広域)	将来開発 集客数 (近隣)	合計※
上大崎1	150	297	340	173				960
	—	297	—	173				470
上大崎2	1,287	1,163	192	674	6,392			9,708
	—	1,163	—	674	5,384			7,221
上大崎3	672	751	322	436	1,874		625	4,680
	—	751	—	436	1,720		—	2,907
上大崎4	239	450	73	261				1,023
	—	450	—	261				711
目黒1	419	498	433	131				1,481
	—	498	—	131				629
目黒2	206	257	291	68				822
	—	257	—	68				325
下目黒1	1,094	547	88	145				1,874
	—	547	—	145				692
下目黒2	521	445	817	117				1,900
	—	445	—	117				562
白金台5	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	4,588	4,408	2,556	2,005	8,266		625	22,448
	—	4,408	—	2,005	7,104		—	13,517

※合計欄の上段は滞留者数(屋内滞留者～将来開発集客数(近隣)までの合計)、下段は帰宅困難者数(滞留者数から、屋内滞留者、待機人口避難者、将来開発集客数(近隣)を除く)

2. 現況および課題の把握

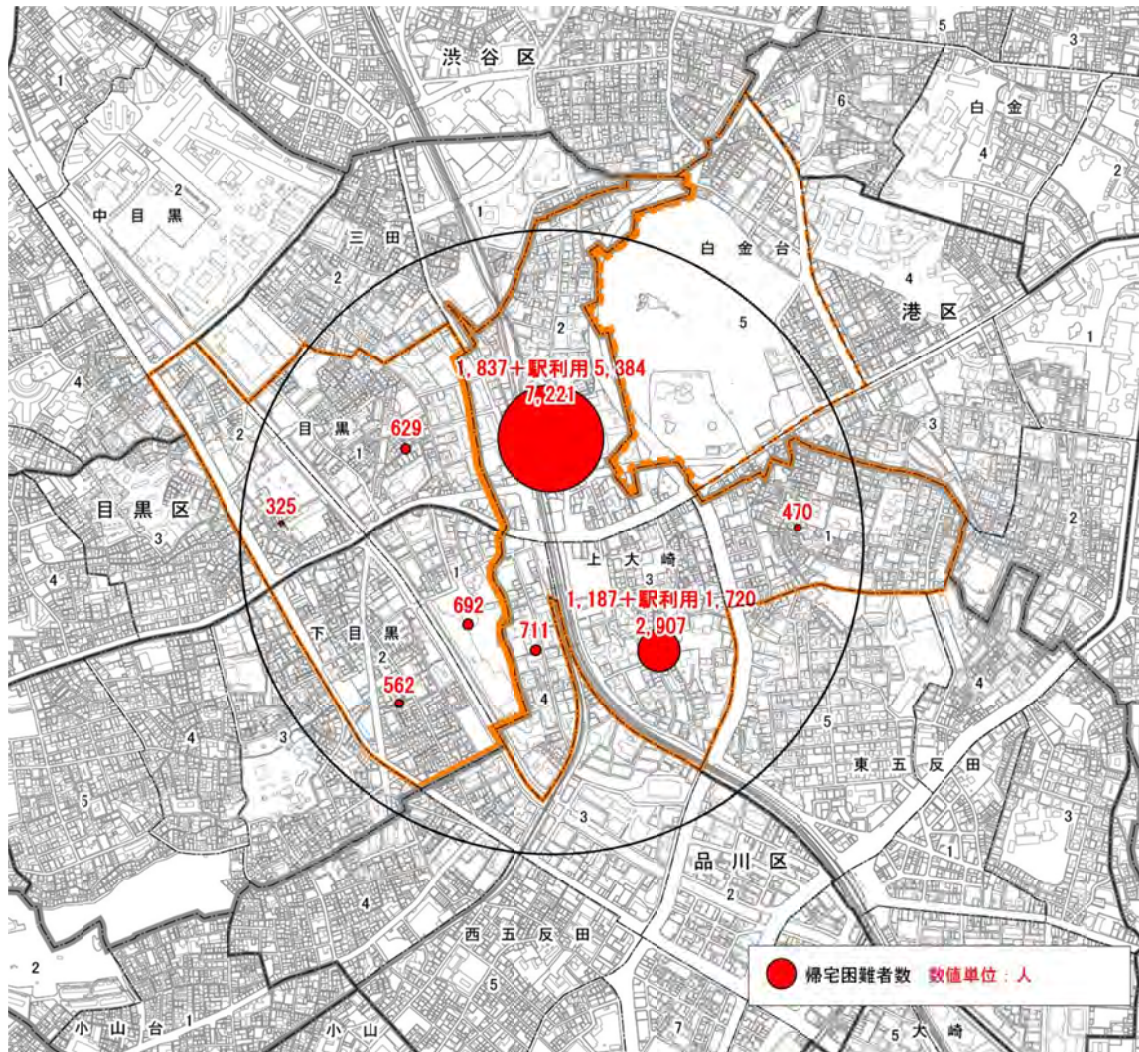
図表 17 町丁目別 滞留者数<sup>1</sup>



図表16の滞留者数について、町丁目別に分布を整理した。

- ・滞留者数が最も多くなるのは、駅北側の上大崎 2 丁目、次いで駅南側の上大崎 3 丁目となる。



図表 18 町丁目別 帰宅困難者数<sup>1</sup>

図表16の帰宅困難者数について、町丁目別に分布を整理した。

- ・帰宅困難者数が最も多くなるのは、滞留者数と同様、駅北側の上大崎2丁目となる。

### c. まとめ

目黒駅周辺の滞留者数および帰宅困難者数について、以下のとおり整理した。

#### 【滞留者数および帰宅困難者数の推計】

- ⇒目黒駅周辺地域における滞留者数は約22,000人、帰宅困難者数は約14,000人と推計され、そのうち、鉄道利用者は滞留者約8,000人、帰宅困難者約7,000人を占める。
- ⇒対象地域内の昼間人口約24,000人と比較して、帰宅困難者数はこの約1/2の規模となる。
- ⇒滞留者数および帰宅困難者数が多い町丁目は、駅北側の上大崎2丁目、次いで駅南側の上大崎3丁目となり、駅周辺での対策が重要となる。